KONAN
U.VISION 2020
甲南新世紀ビジョン

KONAN INFINITY

甲南大学

2016.10

KONAN U. VISION 2020
―甲南新世紀ビジョン―

甲南学園は2019年に創立100周年を迎えます。これまでの歴史のなかで甲南大学は、進取の気風あふれる神戸の地にあり、本物の文化に触れることができるめぐまれた教育環境のもと、自由と自立の精神、品格があり明るくさわやかな学生気質を育んできました。異なる学部の学生同士がつどい、刺激し合うキャンパスからは、融合力を発揮し、個性を力にできる数多くの有為な人材が生まれています。また、卒業生は経済界をはじめ各界で活躍し、広く根をはったネットワークは甲南大学を支える基盤になっています。

現在、世界的研究・教育拠点をめざす学部・研究科に加え、高度専門職業人の養成をめざす専門職大学院を擁し、学生数約9,000人の総合大学に発展した甲南大学は、甲南教育が新たな世紀に入るにあたり、人物教育率先の理念のもと、教育の質の一段の向上をめざす「KONAN U. VISION 2020―甲南新世紀ビジョン―」を定めました。今後、同ビジョンにもとづく「基本方針および施策(戦略)」に沿って、その実現に取り組んでいきます。

Contents

学長挨拶 ……1

Ⅰ．甲南大学全体のミッション ……2

Ⅱ．甲南新世紀に向かう“甲南らしさのワンワード” ……2

Ⅲ．KONAN U. WAY ……3

Ⅳ．甲南新世紀ビジョン（大学全体） ……4

Ⅴ．甲南新世紀ビジョンを実現するための基本方針および施策（戦略）
1．教学新機軸の推進 ……6
2．Active-Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進 ……9
3．教育改革の基盤整備 ……12

Ⅵ．アクション－KONAN プレミア・プロジェクト ……13

Ⅶ．新世紀ビジョン（各学部・大学院・センターなど） ……14

人物教育の甲南
―さらなる教育力の向上をめざして―

平生釟三郎が旧制甲南中学校を開校したのは1919年。その後さまざまな発展を遂げ、甲南学園は2019年に創立100周年を迎えます。

この間、建学の精神である『人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先』の理念を実践し続けてきました。現在、甲南大学は、文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部、マネジメント創造学部、フロンティアサイエンス学部の８学部、大学院人文科学研究科、自然科学研究科、社会科学研究科、フロンティアサイエンス研究科の４研究科および法科大学院を擁し、さらに質の高い教育・研究を推進・支援する多彩な研究所と各種組織をもつ、学生数約９,000人の「ミディアムサイズの総合大学」となっています。

メインキャンパスとなる岡本キャンパスは、そこにいるだけで異なる学部の学生同士がつどい、刺激し合い、融合する場として機能しており、2009年に誕生した西宮キャンパスとポートアイランドキャンパスの両ウィングは、さらなる広がりを与え、新たな教育を実践する場となっています。

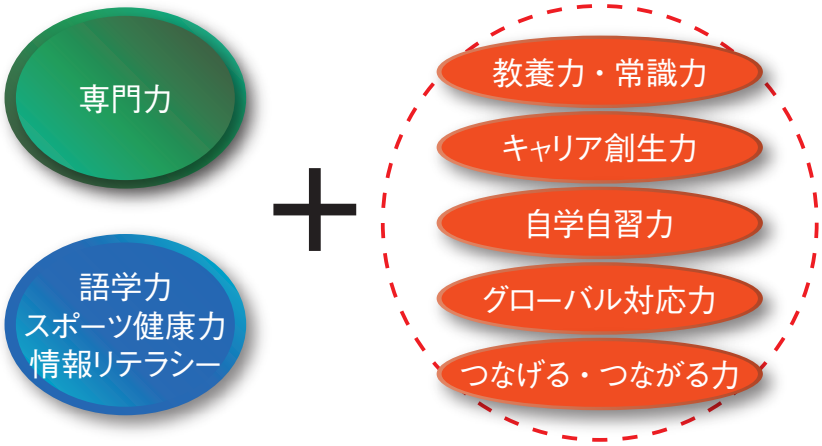
学生個々の天賦の才能を引き出し、人物重視の質の高い教育を提供し、学生、保護者、社会の期待に応えていくこと、これこそが甲南大学の使命だと考え、この度、KONAN U. VISION 2020―甲南新世紀ビジョン―を定めました。甲南教育の新たな100年に向け、伝統のうえに弛まぬ革新を重ね、「人物教育の甲南」と評価される大学として、その使命を果たし続けていきたいと願っています。

甲南学園創立100周年に向けた甲南大学の取組みにご理解とご支援をいただけましたら幸いです。

甲南大学長
長　坂　悦　敬

Ⅰ．甲南大学全体のミッション

甲南大学の教育方針の根本には、学園創立者平生釟三郎が主唱した「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」、「世界に通用する紳士・淑女たれ」という建学の理念があります。この理念のもと、甲南大学は、教養と専門とのバランスを大切にしながら人物重視の教育を行い、良質な社会的常識・倫理観・品格を備え、自ら率先して社会に貢献できる専門性を持った人材の養成をめざします。



教養と専門のバランスを大切にした「徳・体・知」を育む人物教育率先の教育によって育まれる力

Ⅱ．甲南新世紀に向かう“甲南らしさのワンワード”

甲南大学の魅力をわかりやすく一言で表現するために、KONAN ワンワード・プロジェクトを実施し、学生・教職員の投票によって「KONAN INFINITY」が選ばれました。これは、さまざまな出会いや発見によって日々成長し、「無限大」の未来が広がっていくキャンパスライフをイメージしたものです。このワンワードを躍動的かつ奥行のあるフォルムにデザインしたのがこのコミュニケーションマークです。

KONAN INFINITY

Ⅲ. KONAN U. WAY

「ヨキカラダ　ヨキ考エ　少シデモ　世ノ中ニ　ツクシウル　人間ニ　ソダツテ　モライタイ」。そのために「画一的ナ　教育ヲ　サケ　個々ノ　人間ノ　才能ヲ　ノバシウル」教育。これこそが創立にかかわった平生釟三郎、伊藤忠兵衛など錚々たる人物から現在に伝わる教育理念の根本です。この言葉を「KONAN U. WAY －世界に通じる人物をめざして－」として３つの指針にまとめました。これは、甲南大学の学生・教職員が常に心に留めるべきものであり、自己の成長と飛躍をはかるために日々参照すべき行動指針です。

KONAN U. WAY　－世界に通じる人物をめざして－

◆個性あるキャリア創生力を涵養する

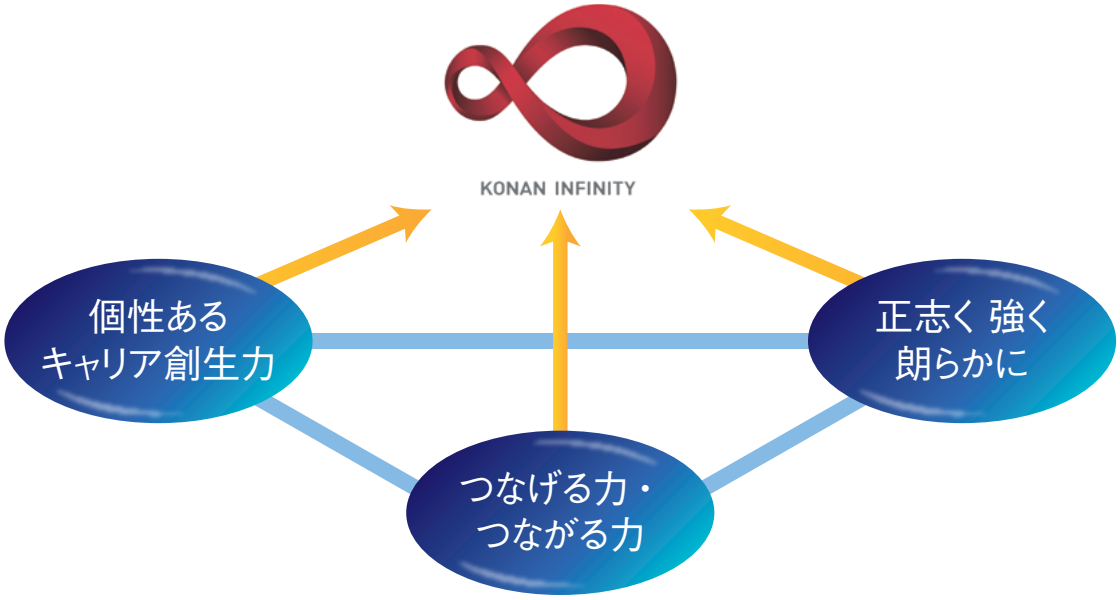
他者を敬い、礼儀・マナーを重んじ、健全な常識を培い、人格を形成するとともに、一人ひとりの天賦の特性を活かし希望を創り生みだし、その目標にむけ日々努力する。

◆つなげる力・つながる力を育む

共に学び、成長する場を大事にし、リーダーシップ(人をつなげる力)・共働互助(人とつながる力)を培う。

◆正志く　強く　朗らかに

周囲環境のどのような変化にも志を貫き大局の打算を誤らず、的確柔軟に対応していくよう心掛ける。



Ⅳ．甲南新世紀ビジョン（大学全体）

甲南大学は、甲南新世紀において、人物教育率先の理念をより高いレベルで実践し、世界に通じる研究力を教育や地域連携に積極的に活かし、新たな時代においても持続的に発展できる大学となるために、次のとおり「甲南新世紀ビジョン」を定め、大学を挙げてその実現をめざします。

(1) 圧倒的な教育力により、人物教育のクオリティ・リーダーと呼ばれる大学になる

Konan University will become known as a quality leader in fostering mature individuals through excellent education.

「融合力を身につけ、個性を力にできる才幹」を育てる大学であることを明確に示し、「人物教育のクオリティ・リーダー」というポジションを確固たるものにする。

(2) 世界に通じる特色ある研究力が教育に浸み出し、地域と連携して発展していることが社会に評価される大学になる

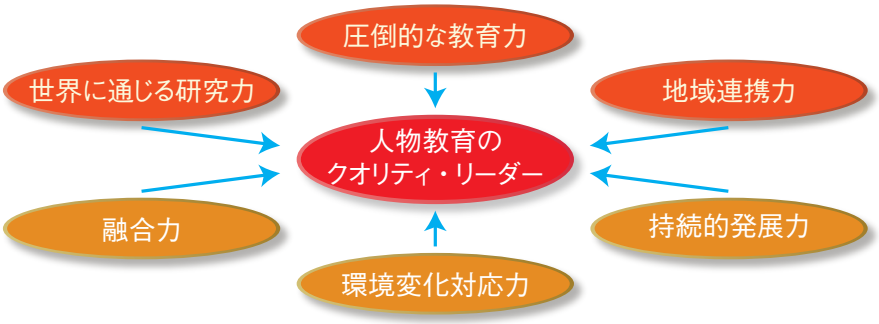
Konan University will be admired for its contribution of internationally competitive research to education and its development in collaboration with the community.

特色ある研究成果の還元、人物教育、社会貢献を通じて「神戸には甲南大学」という評価を得て、地域とつながり、地域とともに世界に向けて発信する成果が評価される大学になる。

(3) 融合力を発揮し、様々な環境変化に対応できる力、持続的に発展できる力を備えた大学になる

Konan University will embody fusion power in embracing environmental changes and every modern challenge, and will have the ability to develop sustainably.

甲南の融合力を発揮できる組織能力を確立し、教育基盤整備に対して戦略的投資が継続される体制を構築することで、今後の環境変化に対応しつつ持続的発展が可能な大学となる。



Ⅴ．甲南新世紀ビジョンを実現するための基本方針および施策（戦略）

甲南大学は、人物教育率先の理念を持ち、人文科学・自然科学・社会科学の学問分野を備えた「ミディアムサイズの総合大学」です。その特長である「学問分野の広がりを保ちながら隅々まで行き届く質の高い教育」および「学部を超えて集う人たちが自然に交じり合い融合するキャンパス」の一層の発展をはかり、新世紀ビジョンの実現に取り組んでいきます。その取り組みにあたっては、学部、大学院、センター、研究所、部局の一層の充実、教学新機軸の確立、Active-Interactive キャンパスの整備・魅力化およびこれらを支える教育改革の基盤整備を柱に、上記の方針に沿った施策を推進していきます。

1．教学新機軸の推進

甲南新世紀ビジョンを実現するための施策の基軸として以下の教学新機軸(1)～(5)を進めていきます。

(1) “顔がわかる”少人数教育の推進

隅々まで行き届く質の高い教育を実現するために、大規模授業の少人数化(定員の実質化、講義１クラス学生数150名以下、カリキュラムの精度向上、S／T比率の実質的向上)など授業規模の最適化をはかるとともに、IC学生証による出席管理や予習・復習に活用できる講義収録配信のシステム化などの環境整備を推進します。また、個性を力にできる才幹を育むために、学生の学びや活動を記録・可視化し、フィードバックする「学修ポートフォリオ」や、成績評価に表れにくい学生の力を評価認定する「KONANサーティフィケイト」*など、学生一人ひとりの成長を支援・促進する独自の制度を充実させます。

＊「KONANサーティフィケイト」……2015年９月に、留学や国際交流の経験などを評価する「KONAN グローバル サーティフィケイト」、多くの本に親しみ図書館情報を活用する能力などを評価する「KONAN ライブラリ サーティフィケイト」の２つが始まり、2016年９月からは、スポーツを通じて身につけた力などを評価する「KONANスポーツ サーティフィケイト」、ボランティア活動の経験などを評価する「KONANボランティア サーティフィケイト」が加わりました。

(2) アクティブ・ラーニング(能動的学習)の推進

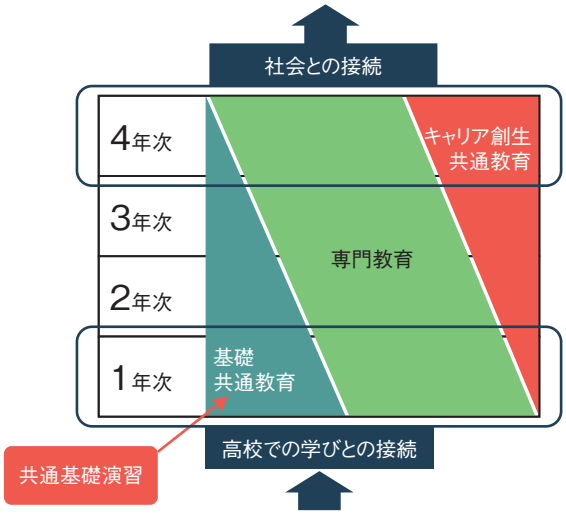
教育の質的向上をはかるために、「教育学習支援センター」を中心に、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどアクティブ・ラーニングを推進する新しい授業形態の拡充・開発を推進します。また、PBL(Project-Based Learning)モデル授業の開発、ラーニング・コモンズの拡充・整備を進めるとともに、グループワークにおけるファシリテーションやライティング・サポートの充実、学習支援に関わる学生アシスタントの育成(Teaching Is Learning、TIL制度の整備)などの支援体制整備を積極的に行い、アクティブ・ラーニングの特色化をはかります。

ラーニング・コモンズ(2013年度～)

中規模アクティブ・ラーニング教室(2015年度～)

(3)　革新的共通教育の推進

学びの視点を増やし、柔軟な思考を育成して将来の可能性を一層広げるために、共通科目の充実を推進します。とくに初年次から学部の垣根を越えて学ぶ姿勢を実践的に身につけることを目標として2016年度から導入した共通基礎演習の内容をさらに進化させ、大学での学びへの円滑な導入をはかります。また、おもに高学年を対象に「キャリア創生共通科目」を置き、そこで身につけた専門的な知識を自らのキャリア形成に活かし、社会で活用できる能力を養成します。



共通基礎演習

革新的共通教育の推進(2015年度～)

(4)　融合型グローバル教育の推進

国際社会で求められる「グローバル人材」の素養として、(1)チャレンジ精神、(2)多文化理解力、(3)タフネス、(4)主体的行動力、(5)英語によるコミュニケーション能力*を重視します。これらを涵養することをめざして、どの学部に入学しても専門科目を学修しながら外国語や国際社会に関する理解などを身につけることのできる「融合型グローバル教育」を推進します。とくに目標にあわせて高度なレベルまで学べる外国語教育、言語文化からグローバルなビジネススキルまでの多様な国際理解教育、優れた実績と手厚いサポート体制を持つ留学制度、グローバルゾーン "Porte" を一層充実・発展させます。

＊甲南版『社会が求めるグローバル能力』：2016年 6 月11日、甲南大学教学アドバイザリー・ボード第 3 回会合の提言

グローバルゾーン "Porte"

(5)　地域連携・ボランティア教育の推進

地域連携・ボランティアに関わる拠点として整備した「地域連携センター」を中心に、地域連携活動を拡充し、教育のなかに明確に位置付けて展開します。すでに活動を開始している東灘区、岡本商店街振興組合、神戸市、堺市、神戸新聞社などとの連携を一層強化し、学生が地域で学ぶ環境を整えていきます。これにより、大学が地域と共に発展できる関係を構築し、地域に貢献する社会人を育成します。

神戸市との包括協定

堺市との包括協定

神戸新聞社との包括連携協定

学生による地域連携・ボランティア

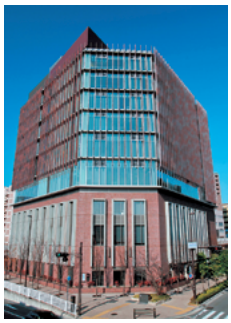
2． Active-Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進

甲南学園発祥の地であり、メインキャンパスとして 6 学部(文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部)、 3 研究科(人文科学研究科、自然科学研究科、社会科学研究科)および法科大学院が拠点とする岡本キャンパスは、そこにいるだけで異なる学部の学生同士がつどい、刺激し合い、融合する場として機能しています。また、西宮キャンパス(マネジメント創造学部)、ポートアイランドキャンパス(フロンティアサイエンス学部・研究科、先端生命工学研究所)は、さらなる可能性を広げる両ウイングとして先進的な学びや研究が展開しています。さらに、六甲アイランド総合体育施設、平生記念セミナーハウス、ネットワークキャンパス東京は、正課体育授業、課外活動や研究活動、地域連携活動などに活用しています。

甲南新世紀に向けては、新たに整備されたセミナーハウス「白川台キャンパス」や、2017年 9 月竣工予定の KONAN INFINITY COMMONS を加え、相互啓発、融合、創発が起こる活気あふれる Active-Interactive キャンパスのさらなる充実化を進めていきます。

ポートアイランドキャンパス

六甲アイランド総合体育施設


西宮キャンパス

(1) KONAN INFINITY COMMONS（略称 iCommons）の新設

学園創立100周年記念事業のひとつとして、岡本キャンパスの学生福利厚生ゾーン（旧学生会館・文化部室・学友会館など）の再開発を行い、岡本キャンパスの結節点（多様なひと・情報が混ざり合い、刺激し合う場）、オープンとシェア（活動の可視化・柔軟に使いまわせる施設）、アクセシビリティー（アクセスしやすい施設）をコンセプトとした iCommons が2017年 9 月に竣工します。延床面積は従来の約1.7倍に拡張され、食堂、カフェ、部室などの各種課外活動施設、吹き抜け空間に設けられる大階段ホール「Agora」に加え、プロジェクト・ルーム、学生ラウンジが随所に設けられます。また、学生部、キャリアセンターも移転し、甲南新世紀にふさわしい新たな機能を発揮する Active-Interactive キャンパスの中核施設として活用していきます。

iCommons 完成イメージ 1（外観）

iCommons 完成イメージ 2（内観）

(2)　白川台キャンパスの活用促進と拡充

2016年５月にオープンした新セミナーハウス「白川台キャンパス」(体育館、グラウンド、環境教育設備をそなえ、約200人が宿泊して学べる施設)の積極的な活用をはかり、さらに体育施設の拡充や環境教育の場としての整備を進めます。

(3)　キャンパスの Active-Interactive 化の推進

2016年９月、岡本キャンパス７号館１階にサイエンス・ラーニングコモンズを整備し、融合サイエンス・リベラルアーツ教育の拠点として活用していきます。また、10号館の整備を進め、３号館、５号館、11号館など岡本キャンパス内の複数動線の活性化、バリアフリー化を進めるとともに、BYOD(Bring Your Own Device)に対応したネットワークファシリティーを整備します。さらに、西宮キャンパス、ポートアイランドキャンパスとの３極融合、ネットワークキャンパス東京の活用も促進します。

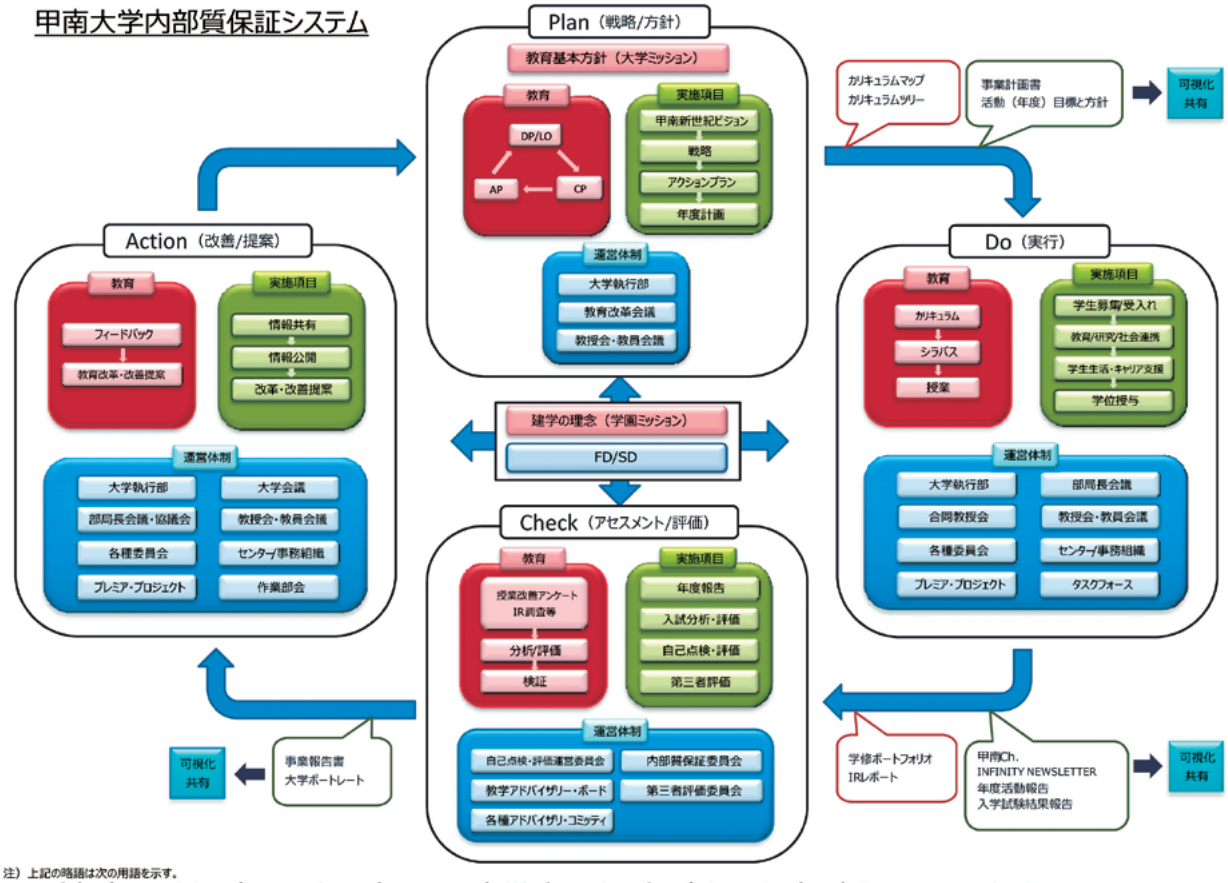
サイエンス・ラーニングコモンズ

ネットワークキャンパス東京

3．教育改革の基盤整備

入口(入学)から出口(卒業)までの大学教育の質保証をより確かなものにしていくために、以下の図に示す内部質保証システムを構築・運用していきます。これは、大学教育の質的転換の断行を支える体制の整備のために、入学から卒業までの一貫した体系的な教育課程を確保し、学修成果の把握・評価に努め、「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP)および「入学者受入れの方針」(AP)の３つのポリシーにもとづく持続的な教学マネジメントの確立をはかるものです。また、当面の重要課題となる高大接続改革について、DP・CP の見直しとカリキュラム体系の整備、AP の見直しと入学者選抜改革および組織体制整備、高大接続プログラムの開発と展開に取り組みます。

加えて、甲南大学の圧倒的な強みのひとつである各界で活躍する卒業生の力を教育改革に活かすために、大学の教育・研究活動に対して助言および支援を得ることを目的とした「甲南大学教学アドバイザリー・ボード」が稼働しています。メンバーは、各地甲南会(同窓会組織)から推薦された甲南大学卒業生であり、現役社長、会長としてご活躍の方々を中心に約20名で構成されています。原則として年２回開催するボード会議では、大学が直面するテーマについて、学長、大学執行部、部局長とのディスカッション、提言作成を行い、大学の施策に反映していきます。



注）上記の略語は次の用語を示す。
DP：ディプロマ・ポリシー、CP：カリキュラム・ポリシー、AP：アドミッション・ポリシー、LO：ラーニング・アウトカムズ、FD：ファカルティ・ディベロップメント、SD：スタッフ・ディベロップメント　IR：インスティテューショナル・リサーチ

Ⅵ. アクション―KONAN　プレミア・プロジェクト

本学教育の特色をさらに進化させ、新たな魅力を創出する９つのテーマのもとに、全学および各学部、大学院、センターなどのビジョンを実践し、または組織横断的に融合する50超のプロジェクトを展開します。

KONANつながる プロジェクト	KONAN スーパー人材育成 プロジェクト	KONAN グローバル・バリアフリー プロジェクト
KONANスポーツ元気 プロジェクト	KONAN スチューデント・サポート プロジェクト	KONAN スマート・ラーニング プロジェクト
KONAN"なりたい自分" キャリアデザイン支援 プロジェクト	KONAN Research＆Education プロジェクト	KONAN 大学教育基盤整備 プロジェクト

1．KONAN つながるプロジェクト
学生、教職員、卒業生や地域社会とのさまざまなつながりを構築し、教育の新たな展開や本学の活力の増進をめざす。

2．KONAN スーパー人材育成プロジェクト
学生の「天賦の才」を引き出し、輝く個性を発揮する人材の育成をめざす。

3．KONAN グローバル・バリアフリープロジェクト
専門能力、国際力、行動力を磨く「融合型グローバル教育」を実践し、「世界に通用する人物」の育成をめざす。

4．KONAN スポーツ元気プロジェクト
スポーツを通して地域社会の発展に貢献するとともに、学生の主体的な行動によって、健康で豊かな心身の成長を促す。

5．KONAN スチューデント・サポートプロジェクト
学生の主体的な学びの促進と「共働互助」の実践を通じて、共に学び、共に育つ「共育」の実現をめざす。

6．KONAN スマート・ラーニングプロジェクト
特色ある教育活動や環境整備を通じて、学生の効果的・創造的な学び（スマート・ラーニング）を支援し、オリジナリティの高い学びの場の確立をめざす。

7．KONAN"なりたい自分"キャリアデザイン支援プロジェクト
学生のキャリアデザインの形成を支援し、自らのキャリアを切り開く力の育成をめざす。

8．KONAN Research&Education プロジェクト
高度で特色ある研究の成果を教育に活かし、知識基盤社会に求められる質の高い教育の実現をめざす。

9．KONAN 大学教育基盤整備プロジェクト
学生一人ひとりが身につけた力と教育効果の可視化に取り組み、高大接続改革の推進と PDCA サイクルの実践によって、より高い次元の内部質保証体制の確立をめざす。

Ⅶ. 新世紀ビジョン（各学部・大学院・センターなど）

甲南大学には、伝統を礎に進化する５学部（文学部・理工学部・経済学部・法学部・経営学部）と先端的な特色教育を進める３学部（マネジメント創造学部・知能情報学部・フロンティアサイエンス学部）、先端研究を行う４研究科（人文科学研究科・自然科学研究科・社会科学研究科・フロンティアサイエンス研究科）、さらに、専門職大学院として法科大学院があります。また、共通教育を担う５つのセンターに加え、教育・学生生活支援、入試業務、研究推進・地域連携を担う部局が活動しています。これらすべての組織が甲南新世紀に向けた各々のビジョンを掲げ、その実現に取り組んでいきます。

【専門教育】学部

文　学　部

(1)　人文・社会にまたがる教育の伝統を継承・発展し、融合型リベラルアーツ教育のモデル学部になる。

(2)　「正志く　強く　朗らかに」という変わらぬ精神に裏付けられた社会実践の力として、世界に通用する国際教養力、人文・社会の諸分野に関する知識と常識、自らの考えを適切な手段によって表現し伝える力、的確な問いをたてて問題解決をはかる意志と能力を育成する。

(3)　甲南大学における人文・社会諸学の教育・研究拠点として国際的視野に立った研究を展開し、地域や社会に貢献する。

経 済 学 部

(1)　どのような状況に直面しても、個性と天賦の才を十分活かすことで、必ず結果を出せる人材を多数輩出しているという定評を社会から得られる学部になる。

(2)　経済学の素養にもとづき、経済・社会問題を的確に捉え、筋道を立てて考え抜くことで解決策を示すことのできる、知性と創造力を備えた人材を安定的に輩出できる学部になる。

(3)　学生一人ひとりの個性を伸長させ、天賦の才を引き出すことができる、適切な学修支援体制を備えた学部となる。

(4)　教育研究リソースを、地域連携や社会貢献に活かせる学部になる。

法　学　部

(1)　国際社会および日本社会を過去から将来にわたって見通すことのできる専門知識、人権感覚にあふれた柔軟な思考力と批判精神、社会的弱者に共感できる豊かな心を持った社会人を育てる学部となる。

(2)　社会的諸問題に対し、自ら思考し、人々とつながり、解決をめざすことのできる市民となりうる人を育てる。

(3)　法学・政治学の研究において、それぞれの専門領域で質の高い研究を進めるとともに、専門領域を超えた融合的・総合的な研究にも取り組み、その成果の発信に励む。

【専門教育】学部

経営学部

(1) 関西の私立大学で最初に開設された経営学部として、伝統と革新の精神にもとづいた実践的な教育を通じ、KBA*(Key Business Ability)をファシリテートする学部となる。

(2) 圧倒的少人数教育による経営学・商学・会計学の学びを通じ、自律的洞察力およびグローバル対応力を持った社会に貢献するビジネス・パーソン、税理士・公認会計士を輩出する。

(3) 実学に重点を置いた専門的なコースならびに企業との共同研究による学びを通じ、問題解決型のビジネス・リーダーを養成する。

(4) 語学と簿記教育に重点を置き、会計に強くかつ国際的に活躍できる人材を育成する。
*KBA:発見する力、生み出す力、やりとげる力(discover、produce、accomplish)

マネジメント創造学部（CUBE）

(1) 徹底した少人数対話型教育により、「自ら学ぶ力」「共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」を醸成し、学生が自らの知的成長を日々実感できる学部となる。

(2) 経済学、経営学、英語の教育を同時に強化することで、英語で論理的に意見を述べる習慣が身につき、グローバルなビジネス環境に適応し、国際・地域社会の環境変化に応じた生き方を持続的に切り拓く力を備えた人材を育成する。

(3) 教員と学生がキャンパス内外で「共に学ぶ」機会を増やすことで、社会貢献や研究成果の発信にも結びつける。また、教育・研究の活動において、学部が関係を持つ全ステークホルダーとの連携を大切にし、自らを発展させていくことが評価される学部となる。

【専門教育】学部

理 工 学 部

(1) 物理学、生物学、機能分子化学の各分野における国際的研究拠点を形成し、最先端の知見と先端機器および技術を教育に取り入れて、理論と実践のバランスのとれた教育(研究力に裏付けられた質の高い教育)を推進する学部となる。

(2) サイエンス・ラーニングコモンズ(SLC)を核として、3学科の融合力により、入学前教育から高度専門教育まで連続した学修支援体制を構築し、自然科学の専門知識、問題解決能力および応用力を身につけ、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を育成する。

(3) 研究に対する安全性および研究倫理に関する素養をもち、大学院進学を志して創造性豊かで国際的な視野を持った研究者・技術者となる理系人材を輩出する。

(4) 先端的研究を通して社会の発展に貢献するとともに、3学科の融合力により地域社会における科学技術情報の発信拠点としての役割を果たす。

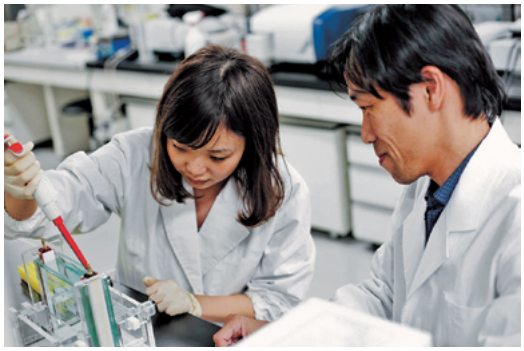
知能情報学部

(1) 時代の要請に対応できる「情報通信」「人間知」「機械知」に関して、高い技術力と応用力を持つユニークなIT技術者を育てることのできる教育力を持つ学部になる。

(2) コミュニケーション能力に優れ、主体的に様々な活動が行える人間力のある人材を育成する。

(3) 魅力に溢れる「情報通信」「人間知」「機械知」の研究を行い、時代をリードする具体的な研究成果により、地域社会への貢献を強力に実践する。

フロンティアサイエンス学部（FIRST）



(1) バイオテクノロジー、ナノテクノロジーおよびそれらの融合領域であるナノバイオ分野において「Teachingから Learningへ」を徹し、また「医療産業都市構想」を担うポートアイランドの環境を活かし、授業以外の場での取り組み(Hidden Curriculum)を通して、「FIRSTで学べば学生が伸びる」だけでなく、「FIRSTで学べば人間的にも成長できる」と評価される学部になる。

(2) FIRSTならではの特色ある施設であるマイラボを活用し、徹底した少人数教育を通して、生命化学分野を中心とした様々な分野において、自ら課題を発見し解決する「自力自学」と他者とともに協力して課題に取り組み研鑽をつむ「協力共学」する能力を身につけた人材を育成する。

(3) 「教育効果を重視した研究」および「研究に先導された教育」にもとづいた研究力と教育力のスパイラルアップにより、ナノバイオ分野において世界で通用する研究成果を挙げ、地域社会ひいては世界に貢献する。

【共通教育】

共通教育センター

⑴　基礎的教養と品格を備え、世界で活躍できるグローバル・センスと健全な社会人としての良識ある習慣・立居振る舞いを身につけ、協調性に富み社会に貢献できる実践力・応用能力を持つ才幹を育成する。

⑵　入学時から在学４年間の「甲南大学での学び」の意義を自覚し実践していけるように共通教育基盤の充実をはかる。

⑶　学生の社会接続・キャリアアップに資するキャリア創生教育の充実をはかり、実社会で活用できる、つなげる力・つながる力・コミュニケーション能力・リーダーシップを涵養する。

国際言語文化センター

⑴　外国語教育・異文化理解教育を担う拠点となり、言語と文化に関する研究を教育にフィードバックする。

⑵　外国語の基本的技能「読む・書く・聞く・話す」の運用能力を伸長させ、外国語を使ってコミュニケーションをする能力を養うとともに、言語文化教育を通して国際理解、異文化理解を深め、国際人としての教養と自己表現能力を養い、「世界に通用する人物」を育成する。

⑶　留学生への日本語教育と支援を通して、世界に通用する人材へと育成し、大学教育の国際化促進に寄与する。

⑷　定期的な外国語講座・文化講座の開催により、地域社会に貢献する。

スポーツ・健康科学教育研究センター

⑴　「人物教育率先」の建学の理念に基づき、学生の人格形成、健康増進に資するスポーツ・健康科学教育を強化・実践する。

⑵　スポーツ・健康科学、スポーツの安全に関する知識を身につける教育を通じて、「安全にスポーツができる甲南大学」、「専門分野を学びながらスポーツをするなら甲南大学」と評されるようになる。

⑶　総合大学で、そして、整った環境でスポーツ・健康科学を学ぶ利点を活かし、社会を元気にする人材、地域でスポーツ指導ができる人材、健康・健全に社会で活躍できる人材の育成に貢献する。

⑷　スポーツ・健康科学分野に関する研究成果を社会に還元するとともに、スポーツを「する」「支える」「見る」そしてスポーツから「学ぶ」ことにより、さらに活気あふれる大学にする。

【共通教育】

教職教育センター

(1) 幅広い教養と深い専門性を追求し、専門職として「教え育てる」能力および生徒の個性を伸長させる態度・姿勢を有する教員像の具現化を理念に掲げ、教員養成課程を持つ各学部・学科と連携して理念の実現をはかる。

(2) 学生の適性や志向と教職とが適切に結びつくよう、教職科目の授業および課外の講座や教職ガイダンス・教職相談等を通じて、教職に関する豊富な情報や機会の提供をはかる。

(3) 教職をめざす学生が希望の進路を実現できるよう、教職免許取得手続きの支援や、採用試験対策などの充実をはかる。

(4) さまざまな困難を乗り越え「学び続ける教師」として、成長しながら教職を継続していくことのできる資質・能力を在学中に育て、卒業後も必要に応じて支援を提供するとともに、教職免許更新講習や教職に関する高大接続など、教職に関する社会的な貢献に積極的に取り組む。

国際交流センター

(1) 海外の提携校等との学術、文化、スポーツなどの交流に必要な教育、研究、調査およびこれに付随する業務を行い、国際交流を推進する。

(2) 学生の国際化を進めるとともに、国際言語文化センター、共通教育センターと連携し、融合型グローバル教育を支援し、専門能力、国際力、行動力を身につけた「世界に通用する人物」の育成をはかる。

(3) 学生の留学送出し、海外提携大学の学生の受け入れの促進、拡大をはかるとともに、関連する危機管理を強化する。

【専門教育】大学院

人文科学研究科

(1) 日本語日本文学・英語英米文学・応用社会学・人間科学の 4 領域において高度な研究を推進するとともに、諸領域を横断・融合する知を探求することによって、人文科学の教育・研究に貢献する研究科となる。

(2) 人文科学の高度な専門性を身につけ、国際貢献および地域貢献のできる人材の育成をはかる。

(3) 研究成果を社会に還元するとともに、社会教育・生涯学習のために高度な専門教育を提供することにより、地域や社会に貢献する研究科となる。

社会科学研究科
経済学専攻

(1) 経済学ならびに税法関連の素養にもとづき、経済・社会問題を的確に捉え、筋道を立てて問題を考え抜くことにより、自らの力で解決策を示すことのできる知性と創造力を備え、広く社会に貢献できる人材(税理士などの国家試験やその他の資格取得をめざす人、学部で修得した経済に関する専門的知識をさらに深く研究し、研究者や公務員・教員をめざす人)を安定的に育成する研究科となる。

(2) 大学院生一人ひとりの個性を伸長し、天賦の才を引き出すことを助けるために、適切な学修支援体制を提供できる研究科となる。

(3) 経済学専攻の教育研究リソースを、地域連携や社会貢献に活かせる研究科となる。

社会科学研究科
経営学専攻

(1) 経営学、会計学、商学の 3 分野の先端をいく高度な理論的研究を推進し、社会に役立つ実践的な専門教育を実現する。

(2) 経営革新の範となる汎用ビジネスモデル構築能力を持った人材、ビジネス創造としての起業プランを積極的に実現・指導できる人材、経営革新・ビジネス創造というイノベーションに関する高度専門的知識とその能力を有する人材を養成する。

(3) 国際交流の活性化をはかるとともに、海外・国内での学会発表、査読論文、紀要のみならず、ビジネス・イノベーション研究所やフロンティア研究推進機構と協力し、研究成果の公開、社会還元に注力する。

【専門教育】大学院

自然科学研究科

(1) 関西私学屈指の自然科学系研究科の伝統を礎に、世界に通じる先端的・独創的・革新的な研究を推進し、個々の研究分野の拠点を形成するとともに、研究の成果・過程・手法を教育の活性化に活かす研究科となる。

(2) 少人数教育による個性を伸ばす圧倒的な教育力と優れた教育研究環境によって、各分野における高度な専門知識に加えて高い倫理観と強い責任感を持ち、グローバルに活躍できる人材を育成する。

(3) 研究科内の各専攻や研究室間の交流、学部との連携、国内外研究機関との卓越した共同研究、および地域連携を推進することによって融合力へと昇華させるとともに、それらの成果を情報発信することによって社会に還元する。

フロンティアサイエンス研究科

(1) フロンティアサイエンス学部との一貫教育の魅力が感じられる研究科となる。また、医療産業都市関連企業をはじめ多様な企業・団体との連携を深め、ナノバイオ分野における研究・教育が産業界からも注目を集める研究科となる。

(2) ナノバイオ分野の優秀な研究者・技術者を養成する。とくに産業界・一般社会との協働や交流による融合領域での経験にもとづいた高度な研究能力およびコミュニケーション能力、産業界のニーズとアカデミックのシーズを結びつける能力などを涵養し、幅広いバックグラウンドと高い専門性を兼ね備えた人材を育成する。

(3) ナノバイオ分野における高度な研究成果と優秀な人材の育成により、生命化学分野の発展に貢献するとともに、地域社会、とくにポートアイランドで進む医療産業都市と協働することで、再生医療や先進医療、先制医療などの分野で地域にも貢献する。

法科大学院

(1) ビジネスに強い甲南ローヤーが育つ法曹養成教育の場作りを徹底する。また、『昼夜開講・秋入学』に加え「テレビ会議方式・遠隔授業」を行う『西宮教室』を開設するなど、有職社会人のための学習環境を整備する。

(2) 司法試験の実績や文部科学省の法科大学院の類型評価などで中堅に位置する実績を維持する。司法試験平均合格率の1/2を超える合格率を実現する。

(3) 学園創立100周年を迎えた時点で、150名を超える甲南ローヤーを輩出する。

(4) 企業内弁護士から自治体市長まで多様な領域で活躍する人材を育み、甲南ローヤーの１割がインハウス・ローヤーなど組織内弁護士となる。

【教育、学生生活支援・入試】

図書館・サイバーライブラリ

(1) 学術情報を蓄積し、学習・教育・研究の諸活動に必要な環境を整備するとともに、学生が主体的に参画する企画を展開し、学生・教職員・地域の利用者をつなぐ知的活動拠点となる。

(2) 知見を豊かにする読書習慣を身につけ、多様な学術情報を活用できる人材を育成する。

(3) 甲南大学における教育・研究成果の公開を促進して学術研究の発展に寄与し、地域と社会に貢献する。

教　務　部

(1) 全学部への授業支援体制を持つ優位性を活かして大学教育全体の融合力を発揮するとともに、“顔がわかる”少人数教育の推進を通じて教育の質の向上をはかり、「人物教育の甲南」の実現を支援する。

(2) カリキュラムの目的を十分に理解し、主体的で責任ある学生を育成する。また、教員が指導主任制度を基礎とした学修指導を行うことができる適切な環境を構築する。

(3) ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーと整合性のとれたカリキュラムを確保するとともに、履修、定期試験、成績処理、学籍管理について、効果的、効率的な仕組みを構築する。

教育学習支援センター

(1) 人物教育のクォリティー・リーダーにふさわしい、PBL(Project-Based Learning)型授業、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどアクティブ・ラーニング型の授業形態の実態検証と一層の普及をめざす。

(2) ラーニング・コモンズや中規模アクティブ・ラーニング教室をはじめとするアクティブ・ラーニング推進拠点整備を進め、iCommons でも主体的学習に活用できる教育環境を整備するなど、学生による主体的学習を促進する教育環境を全学的に整備する。

(3) TIL(Teaching Is Learning)、とくにグループワークでのファシリテーションやライティング・サポートなど上級生が下級生の学習を多面的にサポートする LA(Learning Assistant)制度を拡充し、上級生・下級生双方の知的成長を促す。

(4) 教育の質保証と内部質保証 PDCA サイクルに貢献する IR 活動を確立する。

【教育、学生生活支援・入試】

学　生　部

(1)　甲南大学が掲げる人物教育を実現するため、その一翼を担う学生の課外活動の支援を充実させる。

(2)　ミディアムサイズの総合大学の特色を活かした“顔がわかる”親身なサポート、経済的支援を行い、学生活動を多岐にわたって支援する。

(3)　きめ細やかな学生援助の実現のため、奨学金手続きをはじめ多様化、複雑化する業務の質を高め、正確かつ迅速なワンストップ対応を実践する。

(4)　学生からの多様な要望・相談に、常に公平、公正な判断と冷静な行動がとれる対応力を強化する。

カウンセリングセンター

(1)　心の専門機関として、２つの部門(学生相談室および心理臨床カウンセリングルーム)の協働体制をさらに強化し、学内外の利用者に継続的で質の高い心理教育支援を提供できる開かれたセンターとする。

(2)　甲南大学の学生であることに安心・安全を感じられる心理支援と、個別・少人数の心理教育の提供により、多様な個性に応じて社会の中で自己実現できる人材を育成する。

(3)　震災後の経験を活かし、地域に対して、安心・頼れる大学としてさまざまな心理教育・支援プログラムを開発・実施するとともに、臨床心理教育研究の総合拠点として、心理専門職の研修と実践研究を行うことを通して社会に貢献する。

キャリアセンター

(1)　甲南大学の規模だからこそできる学生の顔がわかるオーダーメイドの親身な就職支援を展開し、就職に強い大学と評価されるようになる。

(2)　職業意識の形成を通して、自らのキャリアを切り拓く力を備え、社会で活躍するために、考え行動することのできる学生を育成する。

(3)　キャリア支援を通して、企業や地方公共団体との関係を強化し、社会との接点や交流の場を展開し、地域や社会の発展に貢献する。

入試センター

(1)　甲南大学の教育理念や教育内容に共感し、本学で学ぶ意欲にあふれた優秀な学生を受け入れるため、甲南大学の規模だからこそできる効果的な入学試験制度を整備し、豊かな情報を提供できる、魅力あるセンターになる。

(2)　適正かつ公正な入学試験を実施し、学内外から信頼されるセンターになる。

(3)　入学試験にとどまらない高大接続の窓口として、学生受入れのための開かれたセンターになる。

【研究推進・地域連携】

フロンティア研究推進機構

(1) 甲南大学の世界に通じる特色ある研究力を広く社会に認知してもらい、具体的にその研究成果を社会へ還元するファシリテーターとしての組織能力を備える。

(2) 一般産業界・公的研究機関との共同研究・受託研究などが多岐にわたって実施されているという、甲南大学における研究活動が活性化された状態を実現する。

(3) 産官学連携や特許など知的財産の創出・管理・活用を進める。

総合研究所

(1) 総合的・学際的研究を指向する独自の「諸科学の既成の枠組みにとらわれず、新しい発想にもとづく幅広い共同研究」を組織し、「有限規模の地球における人類の持続的な発展」に関する統合的・学際的な甲南大学の特色あふれる研究拠点となる。

(2) 30年を超え継続している研究所の伝統を活かし、研究の質をさらに向上させ、社会に貢献・評価される研究成果の公刊を通して社会に貢献していく。

(3) 研究と大学院教育の融合した機能を高め、若手研究者などの育成に努める。

先端生命工学研究所（FIBER）

(1) 「核酸化学はKONAN FIBER」という研究ブランドの確立。基礎学術研究を基盤に、医学・薬学・工学などの産業分野に貢献できる新技術への研究展開を主軸とし、「核酸化学」という医療・健康産業への応用展開が注目される分野における世界有数の研究拠点となることをめざす。

(2) 国際的な多国籍研究活動の展開による「科学交易拠点としてのKONAN FIBER」の構築。欧米やアジアの複数の大学、研究所との間で、国際的かつ分野融合的な「多国籍研究活動」を展開し、世界トップレベルの研究拠点と共同研究ネットワークを構築する。

(3) 「KONAN FIBER発のサイエンス(知)」による社会(地)への貢献。地域社会の研究・開発組織と連携し、医療・健康産業の実応用をめざした研究を展開することで、兵庫・神戸における化学分野での中心的研究機関となり、地域の総合的発展に貢献する。

【研究推進・地域連携】

人間科学研究所

(1) 臨床心理学・医学と、人文諸科学の各分野の融合という他に類を見ない共同研究体制をさらに充実させ、人文系学問領域の実践的研究力の可能性を拓く手本となる。関連領域に関する情報の整理集積を常に広く公開し、研究者や実践家といった専門家の情報ネットワークの拠点となる。

(2) 極めて特長的かつ高度な研究力を地域の生涯教育に還元し、地域とともに発展していることで知られる研究機関になる。

(3) 特色ある高度な研究成果を学生教育に反映させ、未来の地域社会のリーダーとして社会に貢献できる人材を育成することで、地域と大学・学生をつなぐ要となる。

ビジネス・イノベーション研究所

(1) 京阪神地域の大企業だけではなく、地域を支える中小零細企業、ベンチャー企業、ファミリー企業、さらにはNPOやNGOという事業体などにおける事業・組織の活性化や経営者・人材育成に寄与することを通じ、産官学連携活動を行う地域のイノベーション・プラットフォームとして機能する。

(2) 東アジアの諸大学・研究所との研究連携を進め、グローバル研究拠点としての研究成果の情報発信を進め、地域に無くてはならない研究拠点となるべく学際的に研究を推進する。

地域連携センター

(1) 大学と地域を結ぶハブとしての機能を果たし、地域連携の拠点として活動することにより、甲南大学が地域連携に取り組む大学として高い評価を得ることに貢献する。

(2) 地域連携教育・地域貢献活動の実践を通じて次代を担う人材の育成に貢献し、多くの学生がボランティアや地域連携活動に取り組み、知識と経験を身につけることをめざす。

(3) 近隣地域との連携を深めるとともに、中国・四国など広い地域と相互に実りある関係を構築し、大学と地域の発展に貢献する。

近年の主な動き（2009年～）

2009
・マネジメント創造学部マネジメント創造学科（CUBE）増設
・フロンティアサイエンス学部生命化学科（FIRST）増設
・大学院フロンティアサイエンス研究科生命化学専攻（FIRST）修士課程・博士後期課程　増設
・学園創立90周年記念式典を挙行
・甲南平生国際フォーラム（第３回、第４回）を開催
・文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に
「相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出－国公私立４大学 IR ネットワーク」が採択
・文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、「分子クラウディング環境を活用した遺伝子発現系で活躍する機能性分子のデザイン・開発システムの構築」（先端生命工学研究所）が採択

2010
・法学部・経営学部開設50周年記念シンポジウムを開催
・文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に「人物教育率先に根ざした実践的能力の育成」が採択
・文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」（ビジネス・イノベーション研究所）が採択

2011
・大学開設60周年記念式典を挙行
・大学開設60周年記念シンポジウムを開催（文学部、理工学部、経済学部、ビジネス・イノベーション研究所）

2012
・文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に「iCALL による外国語教育のイノベーションと主体的学習の推進」（国際言語文化センター）が採択され、２号館に「iCALL 教室」を設置
・文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に「教学評価体制（IR ネットワーク）による学士課程教育の質保証」が採択

2013
・大学院（専門職）ビジネス研究科会計専攻を社会科学研究科会計専門職専攻に名称変更
・スポーツ・健康科学教育研究センター開設10周年記念シンポジウムを開催
・文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」（統合ニューロバイオロジー研究所）が採択
・サイバーライブラリ内にラーニング・コモンズを設置、５号館ゼミナール室をアクティブ・ラーニング仕様に改修

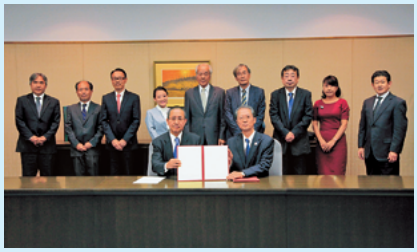
2014
・第３期戦略プロジェクト（法科大学院）、第２期戦略プロジェクト（先端生命工学研究所）が始動
・文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、「核酸の非標準構造を標的とした細胞応答の化学的制御技術の構築と先制核酸医工学への展開」（先端生命工学研究所）が採択

2015
・教育学習支援センター　開設（情報教育研究センターから改組）
・共通教育センター　開設（広域副専攻センターから名称変更）
・グローバルゾーン（Porte）オープン
・岡本商店街振興組合との地域連携協力に関する協定締結
・甲南大学教学アドバイザリー・ボード　設置

2016
・白川台キャンパス　開設
・地域連携センター　開設（フロンティア研究推進機構から独立）
・７号館にサイエンス・ラーニングコモンズ　設置
・神戸市との包括連携協定締結
・堺市との包括連携協定締結
・神戸新聞社との包括連携協定締結
・甲南女子大学との地域創生に係る連携協力に関する協定締結
・兵庫県との就職支援に関する協定締結
・広島県との就職支援に関する協定締結

2017
・兵庫県商工会連合会との事業連携に関する協定締結
・加古川市との連携協力に関する協定締結

岡本商店街振興組合との協定


甲南女子大学との協定

基本データ

【収容定員】(2017年 3 月現在)

＜学部＞

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70	280
	英語英米文学科	90	360
	社会学科	90	360
	人間科学科	90	380*
	歴史文化学科	60	240
理工学部	物理学科	50	200
	生物学科	45	180
	機能分子化学科	60	240
経済学部	経済学科	345	1, 380
法学部	法学科	345	1, 380
経営学部	経営学科	345	1, 380
知能情報学部	知能情報学科	120	480
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	180	720
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	45	180
合計		1, 935	7, 760

＊編入学定員を含む

＜大学院＞

研究科	専攻	修士課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	5	10	2	6
	英語英米文学専攻	6	12	3	9
	応用社会学専攻	5	10	2	6
	人間科学専攻	10	20	3	9
自然科学研究科	物理学専攻	12	24	3	9
	化学専攻	12	24	—	—
	生物学専攻	5	10	—	—
	生命・機能科学専攻	—	—	3	9
	知能情報学専攻	6	12	2	6
社会科学研究科	経済学専攻	10	20	—	—
	経営学専攻	10	20	3	9
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	10	20	1	3
合計		91	182	22	66

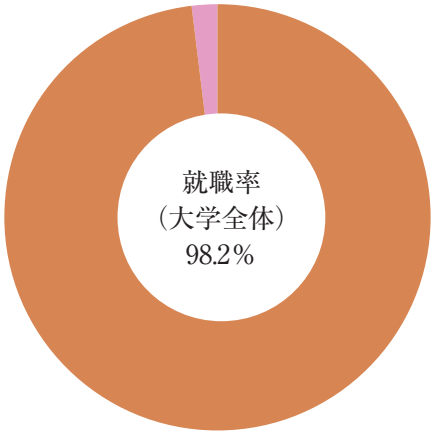
＜専門職大学院＞(法科大学院)

研究科	専攻	入学定員	収容定員
法学研究科	法務専攻	20	60

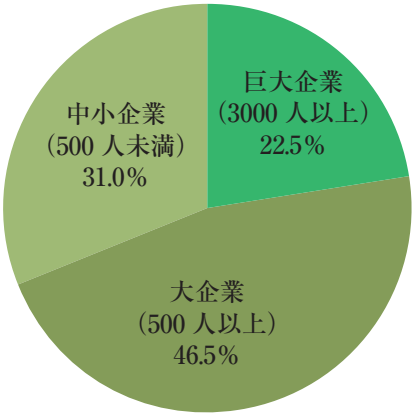
【就職状況（学部学生）】（2017年３月卒業）

＜就職率＞

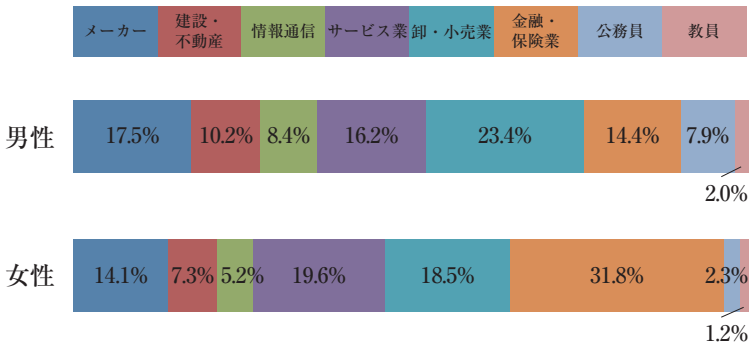
学　　部	男　性	女　性	集　計
文　　学　　部	97.7%	98.5%	98.2%
理　工　学　部	92.5%	100%	95.3%
経　済　学　部	99.2%	100%	99.4%
法　　学　　部	95.1%	97.1%	95.7%
経　営　学　部	100%	99.3%	99.7%
知 能 情 報 学 部	96.3%	100%	96.7%
マネジメント創造学部	100%	99.1%	99.4%
フロンティアサイエンス学部	100%	100%	100%



＜規模別＞



＜業種別＞

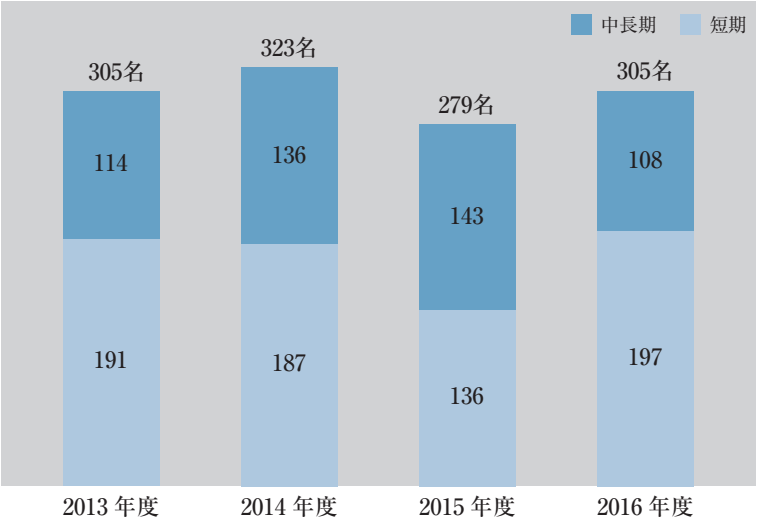


【国際交流】（2017年３月現在）

＜留学協定校数＞

国　　名	校　数
ア　メ　リ　カ	9
カ　　ナ　　ダ	4
ド　　イ　　ツ	4
フ　ラ　ン　ス	3
イ　ギ　リ　ス	1
オーストラリア	3
中　　国	3
韓　　国	3
台　　湾	3
合　　計	33

＜派遣留学生数推移＞



甲南大学

www.konan-u.ac.jp

[岡本キャンパス]
〒658-8501　兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1　TEL.(078)431-4341
[西宮キャンパス]
〒663-8204　兵庫県西宮市高松町8-33　TEL.(0798)63-5741
[ポートアイランドキャンパス]
〒650-0047　兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-20　TEL.(078)303-1457

【お問い合わせ先】
甲南大学　学長室（岡本キャンパス）
TEL.(078)435-2889(直通)　FAX.(078)435-2306